

しかおい議会だより

第166号

令和7年度予算	P2
クローズアップ 2025・予算	P4
The 予算・質疑	P6
3月定例議会	P8
町政を問う・一般質問	P10

「感謝」

撮影者 鹿追高校写真部3年
田中月奈さん

3月24日 鹿追高校離任式
生徒会役員から花束を贈呈



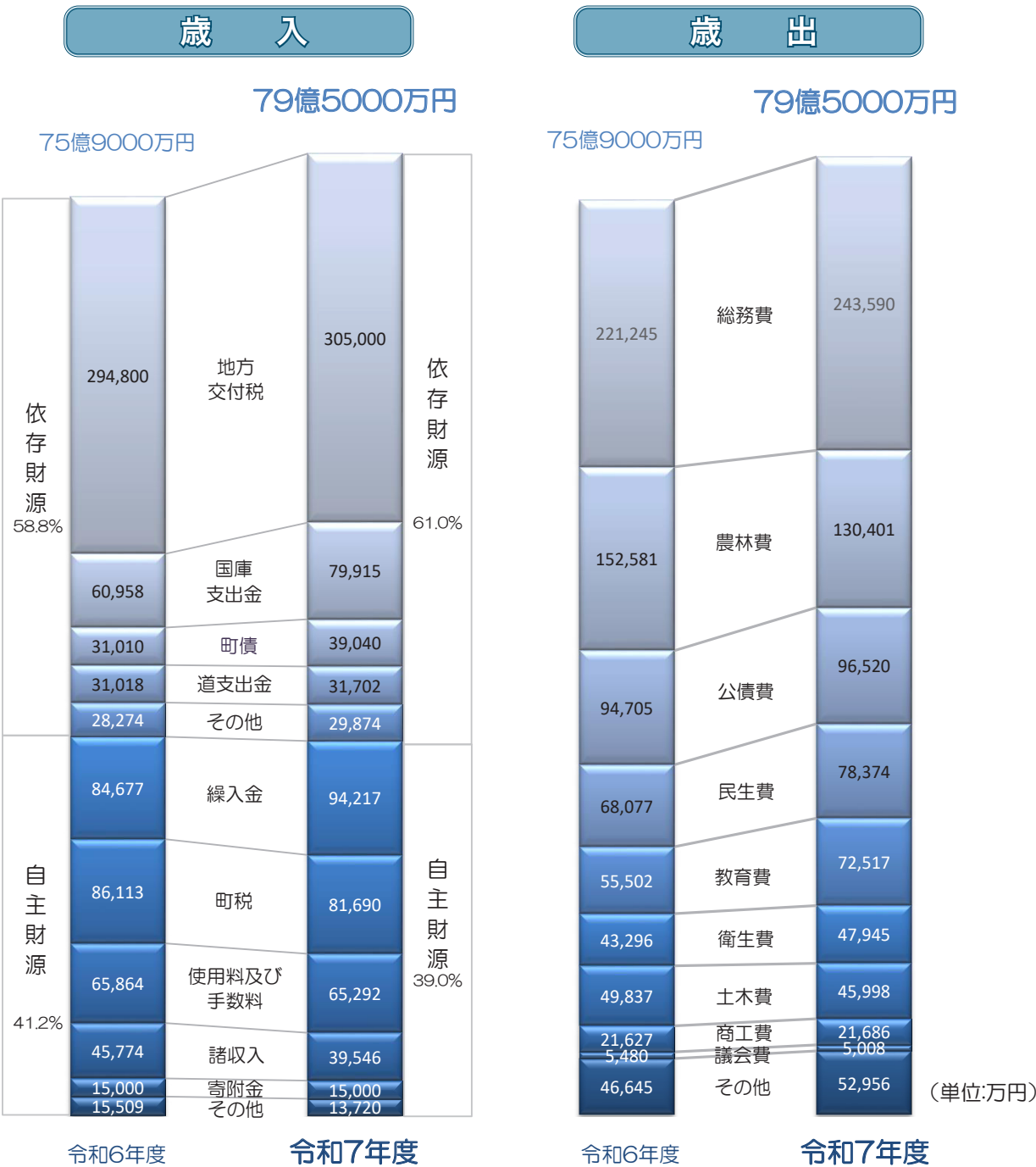
議会ホームページ

Q 検索

■発行者 北海道鹿追町議会
■2025（令和7）年4月25日発行
【E-mail】 gikai@town.shikaol.lg.jp
【URL】 <https://www.town.shikaol.lg.jp>

2025年4月

一般会計予算



※1万円未満切り捨て。各科目ごとの合計は、総合計及び他資料と一致しない。

会計区分		令和7年度(万円)	令和6年度(万円)	比較増減(万円)	対前年度比(%)
一般会計		79億 5000	75億 9000	3億 6000	104.7
特別会計	国民健康保険特別会計	7億 169	7億 6479	△ 6309	91.8
	病院事業会計	7億 1569	6億 7359	4209	106.2
	簡易水道事業会計	4億 400	2億 6465	1億 3934	152.7
	下水道事業会計	5億 532	5億 9559	△ 9026	84.8
	介護保険特別会計	5億 7151	5億 4251	2899	105.3
	後期高齢者医療特別会計	1億 984	1億 1144	△ 160	98.6
合計		109億 5808	105億 4260	4億 1548	103.9

令和7年度予算成立

一般会計 79億 5000万円

前年度比 3億 6000万円 (4.7%) 増

全会計総額 109億 5808万円

前年度比 4億 1548万円 (3.9%) 増

可決

令和7年度各会計予算審査特別委員会において、7会計予算に対する審議を行った。
一般会計では、瓜幕エリア自然体験留学センター新設等実施設計業務委託事業予算に関する質疑が集中し、反対討論も行われた。
採決の結果、賛成7、反対2の賛成多数で可決した。

新年度予算のポイント

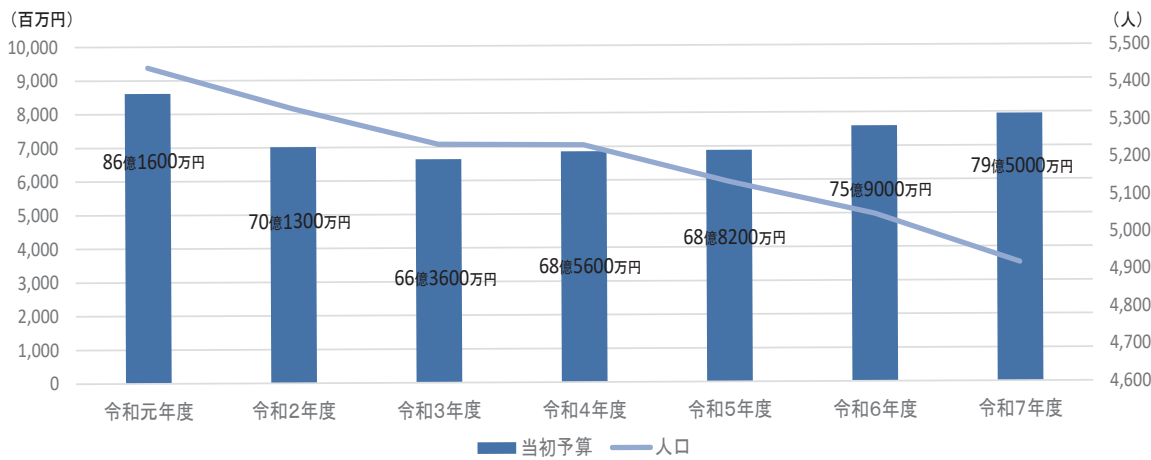
- カーボンニュートラルの推進
- 教育支援の充実と教育環境の整備
- 重層的支援体制の整備
- 地域経済を支える農業・商工業の振興

3月17日、令和7年度各会計予算審査特別委員会（清水浩徳委員長）により新年度予算審査を行った。

令和7年度一般会計予算は、前年度比3億6000万円増額となった。増額の主な要因は、歳出では公共施設の省エネルギー化改修等、カーボンニュートラル推進事業に2億1122万円、鹿追高校寄宿舎運営等、教育支援と教育環境整備に2億6869万円、防災無線整備等、防災・減災及び生活環境整備に7億664万円、農業・商工業振興に1億4000万円が計上された。

歳入では、国庫支出金が前年度比31・1%増の7億9915万円、地方交付税が同3・5%増の30億5000万円、町債が同25・9%増の3億9040万円、繰入金が同11・3%増の9億4217万円となった。

一般会計当初予算と人口の推移



2025年度に進められる

継続

防災行政無線放送 施設整備事業

2億478万円

防災行政無線をデジタル方式に更新する。音声放送のほか、モバイル端末への連動等が可能になる。



継続

瓜幕小学校体育館 特定天井改修事業

6272万円

瓜幕小学校の体育館を耐震改修し、安全性向上を図る。



継続

瓜幕エリア自然体験留学 センター新設等実施設計業務委託

4000万円

瓜幕エリアの脱炭素設備整備及び瓜幕自然体験留学センター新設に伴う実施設計を行う。



継続

役場周辺エリアZ E C化 改修等実施設計業務委託

1億186万円

役場周辺の公共施設を省エネルギー化するため、改修を行う。
令和7年度は実施設計を行う。



継続

子ども医療費等助成事業

3037万円

0歳から18歳までのお子さんが医療機関等で受診する医療費（健康保険適用分）を全額助成する。



新規

消防高機能 指令センター機器更新事業

2076万円



消防署の指令システム及びデジタル無線機器を更新する。



拡充

鹿追高校寄宿舎運営事業

5366万円

ペンギンドミトリー（高校寄宿舎）の運営管理業務等を委託して行う。



新規

第3バイオガスプラント 整備基本設計調査業務委託

660万円



新規バイオガスプラント整備計画マスタープランを令和2年度に策定したが、建設資材費高騰等のため再調査を行う。



継続

畑作物産地生産体制 確立・強化緊急対策事業

1200万円

持続的な畑作物産地体制の構築を図るため、品目ごとの環境変化への対応策を支援する。



継続

重層的支援事業

8632万円

子ども、障がい者、高齢者等への支援を行う。また、複合的な課題を持つ方に対する支援を多機関で一体的に行う。



新規

鹿追高校シェアハウス 食事棟改修実施設計業務委託

600万円

らくらかん 榮羅館（旧鹿追診療所）を改修し、ペンギンハウス（シェアハウス）居住者用の食事棟を整備する。



拡充

国際バカロレア事業

4329万円

鹿追中学校及び瓜幕中学校の国際バカロレア認定に向け、コーディネーターの配置や研修等を行う。



道路新設改良事業

2億4400万円

道営土地改良事業

5550万円

鹿追地区処理施設更新（下水道）1億3351万円

町営牧場事業

3億5535万円

学校給食運営事業

5578万円

中鹿追分館増築事業

2600万円

鹿追高校生海外派遣事業

4474万円

鹿追高校通学費外補助事業

2383万円



The 予算・質疑

令和7年度予算は、各会計予算審査特別委員会
審査の結果、一般会計予算は賛成7、反対2の賛

(清水 浩徳 委員長)を設置し、3月17日に審査を行った。
成多数で可決した。主な質疑は下記のとおり。

下水道会計

下水道管等施設管理



鹿追町浄化センター

Q 各地で下水道管破損等による道路の陥没事故が起きているが、鹿追町の状況は。

A 令和元年度に処理施設及び管路の機能診断を実施し、令和2年度には健全度評価を行った。これに基づき、最適整備構想により更新計画を策定し、実施している。管路は5段階評価で最も良好な状況であった。

教育費

文化遺産維持管理

Q 町の文化遺産を維持管理するための予算を確保しているか。文化遺産保護のため、予算措置が必要では。

A 町の文化遺産である白蛇姫舞とオパール産地については予算措置しているが、旧拓鉄と河西鉄道の交差橋台跡やSLは、修繕が必要であれば検討する。保存物の状況は確認しており、適切に管理していきたい。



緑町公園で保存されている旧拓鉄SL

土木費

公営住宅解体後の計画

Q 公営住宅の解体が進み更地が増えているが、今後の計画は。



解体予定の白樺団地(北町)

A 公営住宅の解体は、公営住宅長寿命化計画に基づき進めている。白樺団地の解体を令和9年まで進める。解体跡地の利用計画は明確になっていないが、今後公有財産利活用計画で検討したい。

民生費

重層的支援体制整備事業



多機関で一体的に支援

Q 重層的支援のこれまでの状況を踏まえ、今後の展開は。

A それぞれの課題が難しく進展しないケースがある。月1回の定例会で情報共有をしながら、今後も検討を継続する。令和7年度は、ケアラーに対する支援を進める。

総務費

地域活性化起業人(空き家対策)

Q 地域活性化起業人派遣企業負担金の事業内容は。

A 令和6年度に東京の事業者と協定を結び、空き家調査を行った。調査結果を基に、令和7年度は居住実態のない方や空き家を管理している方にアンケート調査等を行う予定である。



空き家対策を推進

総務費

証明書コンビニ交付



実施が待たれるコンビニ交付

Q マイナンバーカードを使い、コンビニで住民票等を交付する「コンビニ交付」の実施予定は。

A 来年度からの実施は考えていない。
町民の利便性向上のためコンビニ交付の研究を進めたい。導入は、国の動きや財源を含め検討したい。

反 対 討 論

「地域の声を聞いて熟考を」 瓜幕エリア自然体験留学センター

かねこ たかのぶ 議員
金子 孝伸

瓜幕自然体験留学センター実施設計につながる基本構想、基本設計に不備・不足がある。より良いものにするため、基本設計を基に再考する時間を有する必要があると考える。

この事業の総工事費は6億1499万円、うち、自然体験留学センター新設工事は外構工事を含め2億9511万円としている。

これに係る実施設計費は4000万円、うち、留学センターZEB化建て替え設計費はおおよそ1600万円であり、大きな予算である。

地域・行政・議会が考える時間を有してほしいという希望のもと、留学する子どもたちにとって最善を尽くすための反対討論とする。



自然体験留学センター

総括質疑

管理職研修

Q 各事業の進め方や課題に対し、理事者が自責を認め、反省の意を示している。

これは管理職の自覚が不十分であるためと考える。

課長職の意識改革のため、副町長が先頭に立ち、庁舎内で研修を実施しては。

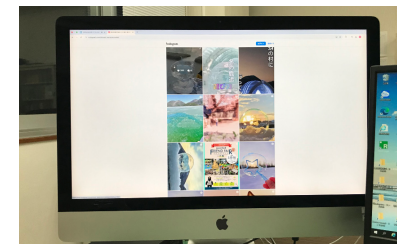


説明員として議会に出席する管理職

A 課長職に具体的にどう研修させるか、考えたい。

商工費

観光協会活動方策



鹿追町観光協会のInstagram

Q 観光協会では、SNSを活用しPR等を行っているが、新年度の活動のポイントは。

A 令和7年度はTikTokも活用したい。市街地に人の流れを作るようなイベントを展開したい。

農林費

第3バイオガスプラント整備基本設計調査業務

Q 令和2年度に実施した第3バイオガスプラント整備計画マスタープランの調査結果の活用方法と、90億円超とされる建設費の見込みは。

A 調査で得られた有用データは今後の計画に活用したい。多額の建設費を要するため、民間事業者と連携して事業を進めたい。



環境保全センター

民生費

就労継続支援B型事業所活動状況

Q 瓜幕水耕栽培ハウスで生産している作物がノウフクJASの認証を受け、「シカベジ」として販売しているが、販路等の今後の見込みは。



瓜幕水耕栽培ハウスでの作業の様子

A 販路は少しずつ増えている。収益が賃金に反映するため、栽培作物も考慮しながら、今後も販路を増やしていきたい。



3月
定例議会

○乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定
○子ども・子育て会議条例制定
○鹿追高等学校寄宿舎設置条例改正

一般会計予算

1億2112万円減額
総額87億5684万円



これを受け、町では事業を実施する民間事業者を認可するため、事業の設備及び運営基準を定めた。

3月定例議会は、3月6日から19日までの14日間の会期で開かれ、喜井知己町長から町政執行方針、渡辺雅人教育長からは教育執行方針が述べられた。

町提出案件は33件で、令和7年度予算、新規条例、条例改正、補正予算、人事案件他全てを原案どおり可決した。

新規条例

○鹿追町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

「乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）」が、子ども・子育て支援法等の改正により令和7年度から制度化された。



認定こども園しかおい

委員は12人以内で、任期は2年。

子ども・子育て支援に関する事業計画策定等にあたり、「子ども・子育て会議」を設置した。

子どもの保護者や子育て支援担当者等の意見を反映し、実効性のある計画とするため、議論を進める。

条例改正

○鹿追町廃棄物の処理及び清掃に関する条例

一般廃棄物処理業及び浄化槽清掃業の各種許可申請手数料を定めた。

○鹿追高等学校寄宿舎設置条例
高校寮の鹿岩寮を廃止し、新たにペンギンドミトリ（高校寄宿舎）を設置した。

また、シェアハウスの名称をペンギンハウスに変更し、それぞれの使用料金を改定した。使用料は、ペンギンドミトリが月額8万円、ペンギンハウスが月額7万円。在寮生と令和7年度入学者には経過措置を規定した。規則により減免規定も定めた。



ペンギンドミトリ（高校寄宿舎）内部キッチンと個室（奥側）

補正予算

障がい者就業支援

○就労継続支援B型事業所増設工事補助金 1880万円減

○就労継続支援B型事業所増設工事費貸付金 2000万円減

もみじ工房に対する補助及び貸付金を減額した。もみじ工房では、事業所の増設工事を予定していたが、経費高騰等の理由により実施者が確定しないため、事業を延期した。

町道維持管理

○町道除雪委託料1270万円

○自動車・機械・排雪ダンブ借上料 500万円

町営牧場用備品購入

○ピックアップトラック購入 426万円

継続費

○防災行政無線放送施設整備事業 2億6400万円

防災行政無線放送施設整備事業の継続費を7280万円減額し、令和6年度及び7年度の年割額を変更した。

○役場周辺エリアZEC改修等事業 41億3507万円

役場周辺エリアZEC改修等事業の継続費を6億8872万円増額し、令和7年度から9年度までの年割額を変更した。

請願を採択

■請願第1号

- 件名 食料安全保障の強化に向けた次期基本計画及び酪肉近の改訂を求める請願
○請願者 鹿追町農民団体連絡協議会 会長 武藤 敦則
○紹介議員 清水 浩徳・山口 優子
○請願趣旨

食料・農業・農村基本計画の改訂にあたり、国内生産増・食糧自給率向上・直接支払い制度構築等の農政を推進し、関連予算を拡充すること。酪肉近の改訂にあたり、生産基盤強化策等の施策を盛り込むこと。
また、国産生乳・乳製品の安定供給に向け、生産抑制・減産に頼らない対策を行うよう国に求める。

○意見書 関係大臣・衆参議院議長に送付

総務文教常任委員会と自然体験留学センター
連絡協議会（留連協）役員との懇談会を開催（3/7、3/13）

町では、瓜幕エリアの公共施設（小学校・保育所・プール・夢創造館・留学センター）を自営線で結び、地域の脱炭素化を図るとともに、自然体験留学センターを省エネ施設として新設する計画を進めている。

この事業について令和6年6月に示された基本構想（令和5年度作成）では、収容人数が10人、居室面積が既存施設と同程度等としていたが、令和7年3月に示された基本設計では人数、面積ともに大幅に縮小され、各室の配置も変更されていた。このことから、変更の経緯等を確認するため、総務文教常任委員会では留連協役員との懇談会を開催した。

町から、変更の理由として、スタッフの人数を考慮した場合、子どもが罹患（りかん）した際の対応や屋外活動での安全性確保、生活指導面からの配慮、また、建設費の観点か

らも、現在の実態数と同程度の5～6人の施設規模が適切であるとの説明があった。

留連協役員からは、自然体験留学制度が学校の存続を目標として始まった経緯や地域の活性化につながっていること等が述べられた。

議員からは、多額の投資を行い長期間使用することを踏まえ、留学生数の増減に柔軟に対応できる施設規模が必要では等の意見があった。

これらの議論を踏まえ、令和7年度予算審査特別委員会において本事業に対する質疑や反対討論が行われた。（関連記事P7）



留学センターを省エネ施設として新設

令和7年第1回議員塾終わる

令和7年第1回の議員塾を、2月20日から3月19日の日程で行いました。

鹿追町議会初となる議員塾には2人が入塾され、議会の概要や議会活動等についての座学や本会議の傍聴を行っていただきました。



NHKの取材の中、開塾式を開催

令和7年第2回の議員塾は、9月9日から9月22日に開催予定の9月定例会に合わせて開催します。詳しい日程は、決まり次第、ホームページ及び議会だよりでお知らせします。

皆さま、ぜひご参加ください。

議員とカフェでひとこと

令和7年5月20日（火）午前11時00分

平成館で開催します

狩野 正雄 議員と 清水 浩徳 議員が

お待ちしております！（予約は不要です）

まちなか会議

議員とカフェでひとことを
開催しました

2月25日、平成館で「議員とカフェでひとこと」を開催しました。当日は7人が参加し、昨年からの町立病院問題や町道の除雪、老人会行事への参加者減少等についてご意見をいただきました。



2月25日開催のカフェでひとこと

議員宛て行事案内に
フォーマットをご活用ください

議員宛ての案内フォーマットを新設しました。「議員に自分たちの活動を知ってほしい」「議員との交流機会を作りたい」そんな時は、右記QRコードからお気軽にお知らせください。



※式典や会議等の正式な案内は、議会事務局まで郵送またはご持参ください。

町政を問う。

3月13日、4人の議員が
一般質問を行った。



まさと 議員

脱炭素

Q ゼロカーボンシティの
進ちよく状況は

A プロポーザルの参加辞退
により再公募

(質問)

役場周辺のZEC化
改修事業により、建設か
ら35年経過している町民
ホール、神田日勝記念美
術館、トリムセンター等
の公共施設を改修する計
画だが、進ちよく状況は。

(質問)

工事の実施に伴い、公
共施設を閉館すると聞
くが、完成までのスケ
ジュールは。

(答弁) 喜井町長

工事による施設の閉館
は、町民ホールが1年4
か月、神田日勝記念美術
館とトリムセンターは1
年、健康温水プールは7
カ月を見込む。

(質問)

瓜幕地域で自営線ネッ
トワーク(マイクログ
リッド)を構築すること
で、多様なエネルギーの
活用が可能になると聞く
が、経済性や環境性は。

(答弁) 喜井町長

瓜幕エリアでは、自
然体験留学センターの老
朽化に伴う改修が課題で
ある。施設のZEB化新
設と自営線ネットワーク
を構築し、効率よくエ
ネルギーを利用する。経
済効果は電気代が年間
250万円削減、二酸化
炭素の削減量は年間30
40トン。太陽光発電と蓄
電システムとの組み合わ
せにより周辺公共施設を
つなげ、防災性の向上も
期待できる。



町民ホールと神田日勝
記念美術館

Q シカソンの今後の事業展開は
企業との連携強化により
町の活性化を図る

シカソン



ささと 議員

(質問)

シカソンは「鹿追町を
知ってもらおう」というコ
ンセプトのもと行われ、
昨年、地方創生賞として
評価された。
今後、課題解決型ワー
ケーションとして鹿追の

知名度を上げつつ、どう
事業展開していくのか。

(答弁) 喜井町長

本町でのショートステ
イを体験することで、少
しずつではあるが本町の
知名度が広がっていると
考える。

(答弁) 喜井町長
コンシェルジュの育
成という事業も行ってお
り、その方が中心となっ
て町内に集約された事業
者とかの場所から来ら
れる事業者をうまく結び
つけ、連携を図ること
である。

(質問)

地道な取り組みが非常
に大事である。
このプログラムの継続
と実現を期待する。

(答弁) 喜井町長

継続して取り組んでい
くことが、このワーケー
ションやシカソンの取り
組みも含め、非常に重要
と考える。



シカソン

(質問)

町内関係事業者との連
携とは。
具体的な内容は。

町民の幸福感向上に
つながる職員育成を

新たな課題に対応する
職員を育成する

(質問)

の趣旨を職員に浸透させ
る取り組みを実施する。
また、新たな課題に適
応できる職員の育成が急
務になっている。

町は、職員への期待も高
まっていく。
意欲ある職員を増やす
ことはまちづくりに欠か
せないと思うが。

(答弁) 喜井町長

職員研修の重要性は認
識しており、職員のやる
気を引き出すのは理事者
側の仕事と考える。
役場組織の運営も含め、しっかりと取り組んで
いきたい。

(質問)

職員研修に熱心な自治
体とそうでない自治体で
は、数年で差が開いてい
く。それは住民の幸福
の差につながる。
さまざまな取り組みで
全国から注目される鹿追



くろい 議員

(質問)

鹿追町は、地域課題解
決のために民間企業と連
携し、民間の知恵を積極
的に生かしている。それ
により町政に新しい動き
をもたらしていることは
素晴らしいと考える。
町は民間の知恵を生か
す職員育成を進めるべき
である。

組織力を高める人材育
成、意欲的な職員の活躍
のために、「まちづくり
基本条例」を柱とした人
材育成が重要だと思っ
た町長の考えは。

(答弁) 喜井町長

職員は、日頃から「ま
ちづくり基本条例」を意
識して行動することが極
めて重要である。
さまざまな機会に条例

(質問)

職員研修に熱心な自治
体とそうでない自治体で
は、数年で差が開いてい
く。それは住民の幸福
の差につながる。
さまざまな取り組みで
全国から注目される鹿追



ピュアモルトクラブハウスの活性化を

(答弁) 喜井町長

ピュアモルトクラブハ
ウスの活性化を通じ、町
全体の活性化につながる
よう努めていく。

(質問)

職員研修に熱心な自治
体とそうでない自治体で
は、数年で差が開いてい
く。それは住民の幸福
の差につながる。
さまざまな取り組みで
全国から注目される鹿追



町民ホールで実施したハラスメント研修





地域おこし協力隊 「鹿追高校みらい留学 コーディネーター」着任

令和6年10月1日、地域おこし協力隊として「鹿追高校みらい留学コーディネーター」に、宗雲茉莉奈さんが着任しました。

宗雲さんは、大学時代のカナダ留学や、令和6年7月までのオーストラリアでのワーキングホリデーなど、豊富な国際経験を持っています。

これらの経験を生かし、鹿追高校全国募集の広報活動、入学希望者への支援、寮やシェアハウスで生活する生徒のサポートなど、幅広く活躍されています。



地域おこし協力隊
鹿追高校みらい留学コーディネーター
宗雲 茉莉奈さん



私は「Surpresa（ソルプレサ）十勝」というフットサルチームで活動していて、ご縁があり鹿追高校に携わらせていただくことになりました。

鹿追高校はカナダ短期留学と探求学習が特徴のひとつですが、生徒や学校関係者の温かさ、町のサポートの厚さなど、広い視点から未来の新生一年生に魅力を伝えていきたいと思っています。私もまだまだ鹿追初心者なので、これからもたくさんさんの魅力を知り、広めていきたいと思っています。

（取材・インタビューアー 青砥敏一）



役場職員 避難所運営訓練



パーティションと段ボールベッドの組み立てを実施

2月20日、鹿追町役場で初めての避難所運営訓練が行われました。

役場職員61人、議会議員7人、学校の先生方8人の計76人が参加しました。

内閣府が承認する「地域防災マネージャー」の資格を持つ上出さんの講話の後、3人組でパーティションと段ボールベッドを組み立てる練習をしました。

自衛隊の勤務を経て、令和6年4月から地域防災監として勤務しています。

こういった防災訓練は非常に重要で、公助を充実しないことには、自助、共助につながっていかないと考えます。

まず役場としての体制を整え構築することが町民の方の安心感につながると思っています。

（取材・インタビューアー 山口優子）

編集後記

2月初旬、十勝地方を襲った記録的な大雪は、住民生活に多大な影響を及ぼしました。

帯広市内では除雪作業の遅れが交通機関に大きな支障をきたしました。この経験を教訓に、今後の復旧作業の技術向上に期待したいものです。

一方、鹿追町内では大雪にもかかわらず、おおむね良好に対応できていたと思われます。

議会広報部会 部会員 青砥敏一

議会広報広聴常任委員会 広報部会

部会長 佐々木康人
副部長 山口 優子
部会員 青砥 敏一
金子 孝伸
黒井 敦志